

東北森林管理局

指導普及課だより

第62号

発行日 平成23年6月17日

郵便番号 010-8550

電話番号 050-3160-6456

住所 秋田市中通5丁目9-16

『森を歩こう!』

5月16日付けで朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターからまいりました。趣味は野の生き物ウォッチと山歩きで、特に猛禽類がライフワークです。街中にある森林管理局の窓からもハヤブサ、チョウゲンボウ、ミサゴ、ノスリなどの鷹が見られ、楽しんでいきます。誤解を恐れて望遠鏡は使えないのが残念ですが……。この度の秋田勤務で管内全県で居住したことになりました。よろしくお願いいたします。



指導普及課長 青山 一郎



局からも見られるハヤブサ（白神山地にて）

さて、指導普及課の業務は「開かれた国有林」としての新たな施策が加わり、近年特に幅広くなったといわれます。森林環境教育、技術開発に加え、自然再生、保護林や緑の回廊の保全・管理、国民参加の森林づくり等多岐にわたり、繊細な感性やシビアな客観性等まで多様な対応が求められます。さらに今年からは、森林・林業再生プランの柱の一つ、民有林の適切な森林施業や林業経営を支える日本型フォレスターの候補生となる准フォレスターの研修も始まります。

しかしながら、仕事の内容は多様でも、計画、実行、評価、改善を繰り返してステップアップしていくPDCAのプロセスが重要なのは共通です。特にCheckの部分では現地実態の把握と多角的な観点からの考察は欠かせないと考えています。という訳で、なるべくたくさん山を歩いて、多くの人のお話を聴きたいと思っています。国際森林年の国内テーマが「森を歩く」でもありますし。余談ですが、PDCAは現在いろいろな場でうたわれますが、「緑の回廊」の前身「奥羽山脈縦断自然樹林帯構想（1995）」において、それまでの行政がどちらかというとタブー視してきた「順応的対応」を前提としたのが、我が職場での元祖だったように思います。

各事業が動き始めてからの異動のため、全体像を飲み込みきれないまま走っていますが、「開かれた国有林」の玄関口として、多くの方々から広くご意見を伺いながら、また言葉なき野山のものたちの声もききながら業務を進めていきたいと考えていますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



INTERNATIONAL YEAR
OF FORESTS • 2011

『緑の山歩塾』年間計画

今年度も多くの国民の皆さまに自然の中で自然と親しみ、遊び、学び、喜びを味わっていただくことのできるよう、下記のとおりイベントを企画しております。今年度は国際森林年でもありますので、「森を歩く」というテーマのもと、多くの皆さまに山を歩いていただきたいと思います。

	イベント名	実施年月日	実施場所
1	秋田駒ヶ岳に登ろう	6月25日(土)	仙北市
2	秋田の木を巡るツアー	9月2日(金)	能代市
3	紅葉の鳥海山麓滝めぐり	10月15日(土)	山形県遊佐町

平成22年度イベント『紅葉の安の滝』→



仁別森林博物館のご案内

仁別森林博物館は、周辺の仁別の森林と一体となった「フィールドミュージアム」です。木の実に触ったり、クラフトを作ったり、博物館で学習したことを周辺の森林で観察し体験することができます。周辺には樹齢200年以上の天然秋田杉林もあり、散策ができます。皆さまのお越しをお待ちしています。アクセス・・・JR秋田駅より車で約50分



●今後のイベント情報●

7月8日～8月29日 「森林鉄道」のパネル等展示
7月29日 親子森林教室&自然観察(一般公募)
9月16日～9月26日 キノコ展(食用キノコと毒キノコ)
11月3日 仁別森林博物館閉館

●利用案内●

開館時間 (5月～9月 午前10時～午後5時) (10月～11月 10時～4時)
休館日 毎週火・水・木曜日(ただし祝祭日及び11月1日、2日を除く)

◆ ◆ 5月16日付け人事異動 ◆ ◆ ～転入された皆さんから一言～



長谷川 洋三 企画官(技術開発)〔旧職名：計画部付(盛岡署駐在)〕

5月16日付けの異動で計画部企画官として技術開発を担当することになりました。秋田での勤務は初めてですが、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っております。海が近いので「お魚」を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

中嶋 一 課長補佐〔旧職名：山形署 総務課長〕

5月16日付けで山形署総務課長から指導普及課課長補佐へ異動となりました中嶋です。新規採用以来の局勤めです。また、これまで携わってきた業務と180度違うこと、思い描いている普及課の業務のイメージとちがうこと、業務内容の幅の広さに驚いているところです。

まだまだ、不慣れではありますが、がんばっていきたく思いますのでよろしくお願いいたします。



岩間 由文 技術開発主任官〔旧職名：置賜署 流域管理調整官〕

5月16日付けの異動により、技術開発を担当することになりました。局勤務は新規採用のとき以来でまごつくことばかりです。何もできませんが、新たな気持ちで頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

☆新設ポストのご紹介☆



片岡 操 企画官（技術開発・普及）〔旧職名：秋田署 次長〕

この度の異動により、新設されました技術開発・普及を担当することになりました。業務内容は、市町村森林整備計画の策定や森林経営計画の認定等森林計画制度の運用を現場で担う市町村を技術面から支援する都道府県職員、国有林野事業職員等を対象とした准フォレスター研修等を平成23年度から実施することとなりましたので、その企画及び連絡・調整を担当します。経験のない業務ですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

鈴木 春美 森林技術普及専門官〔旧職名：計画課 経営計画第三係長〕

今年度から始まる准フォレスター研修実施に当たり、ブロック事務局との連絡調整業務が主となるため、拠点署である盛岡署に駐在しております。これまで経験したことのない業務及びスタッフがいないことへの不安と戸惑いの連日ですが、研修成功に向け皆様方のご指導の下、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



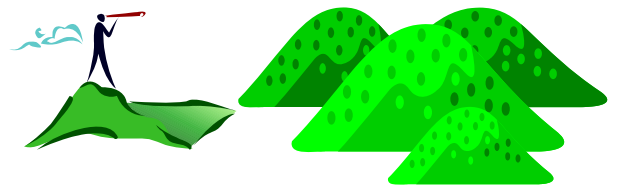
ところで、准フォレスター研修とは？

森林・林業再生プランでは、戦後造成され充実しつつある森林資源の有効活用を通じた持続可能な森林経営と国産材の安定供給の構築を推進するため、今後、施業の集約化、路網整備の加速化及びこれらに必要な人材の育成を行い、**10年後の木材自給率50%以上**を目指すとしています。

このため、森林計画制度を見直すとともに、市町村森林整備計画の策定や森林経営計画の認定等森林計画制度の運用を現場で担う市町村を技術面から支援するため、高度な知識・技術と豊富な実務経験を有し、長期的視点に立った森林づくりを計画・指導できる技術者を**フォレスター**として**平成25年度から認定**することとしています。

フォレスターが認定されるまでの間、市町村の支援業務に当たる人材として、**平成23年度から**都道府県職員、国有林野事業職員等を対象とした**准フォレスター研修**を盛岡署管内において実施します。

また、一定の路網整備水準の到達を目標に路網整備の加速化を担う者を育成するため、一般の土木技術・技能を有する都道府県、市町村及び国有林野事業職員等を対象とした**林道専用道技術者研修**を岩手北部署管内において実施することとしています。



～転出された皆さんから一言～

高橋 東 〔旧職名：指導普及課長→現職名：職員厚生課長〕

今年は「国際森林年」そして「森林・林業再生プランの実践元年」です。指導普及課では、国際森林年を各種イベントや保護林の保全等の追い風と捉え、また森林・林業再生プランの実践という面では、フォレスター等人材育成や技術開発のための準備を進めていました。

そんな中での東日本大震災。その甚大な被害により、それまでの取組はひとまず停止を余儀なくされ、局をあげた被災地への支援に集中することとなりました。

震災から2ヶ月あまりが経過した今、停止させていた本来業務の取組を急ピッチで進めることが必要となっています。

このような中であって異動することとなったことは心苦しいですが、1年10ヶ月あまりの在任中お世話になった方々へ深く感謝するとともに、今後の指導普及課へのご支援をお願いして課を離れます。



草留 一久〔旧職名：企画官（技術開発）→

現職名：四国局 森林整備部専門官（災害対応）〕

皆様にはこれまでの2年1ヶ月余、大変お世話になりましたことに対しまして感謝申し上げます。

技術開発業務及び森林・林業技術交流発表会開催業務を中心として勤めさせていただきましたが、皆様のご助言・ご協力のお陰です。

ただただ自分の非力さを痛感しているところです。

東北地方太平洋沖地震の復旧には、まだまだ時間がかかるかと思いますが、どうかご自愛なさり東北再建を目指してくださいますことを祈念申し上げます。



山北谷 誠〔旧職名：指導普及課課長補佐→現職名：秋田署 次長〕

計画部勤務は、平成7年度の計画課以来でしたが、その当時の指導普及課はできたての課であり、植樹祭等イベントを積極的に仕掛けていた記憶があります。現在の指導普及課はその当時と比べ、保護林や自然再生の取組みなど4センターを拠点とし幅広い業務になっていて大変驚いたところです。

これまで、かつての生産業務が長かったせいもあり、現場に入る時（山を見る目）は、「これは何丁とれるな」という感覚で常に上をみていた感じがします。

また、当課にお世話になるにつれ、現場に行くとは上ではなく今度は、下ばかり見ておりました。（わはは！一種の職業病だ）

まだまだ、植物名の取得と植生については未熟であり、さらなる向上に努めたいと考えており、計画課とコラボした実践型森林施業研修を計画したのですが、実践は後任者に委ねることとし、指導普及課の皆さんお世話になりました。



高橋 弘美〔旧職名：技術開発主任官→

現職名：秋田署 大曲森林事務所首席森林官〕

この度秋田署大曲首席森林官に異動となりました。指導普及課には平成21年4月から2年と1ヶ月半の在職でありましたが、主な業務は技術開発としながらも、緑の山歩塾や森林の市などいろいろなイベントにも携わることで、楽しく、有意義に過ごすことができました。多くの方々にたいへんお世話になりましたことに深く感謝を申し上げます。新しい職務につきましても精一杯頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いを申し上げ、異動のご挨拶といたします。



庄司 直子

〔旧職名：課付→現職名：米代東部署 鷹巣森林事務所首席森林官〕

この度、鷹巣森林事務所へ異動することとなりました。平成20年度からの3年間、皆さまからたくさんのご指導を頂きました。本当にありがとうございました。普及課に来るまでは内部的な仕事が多かったので赴任当時は不安だらけでしたが、イベントを通じて一般の方や子どもたちと接しお話しすることができて、とても楽しい時間でした。また、これから始まる森林官の仕事をする上でもとてもよい経験になったと思っています。たくさん山に入って勉強して、心も体も引き締まるよう頑張ってきます。



「森林の市」5月開催の見送りについて

2011国際森林年記念として予定していた「森林の市」は、例年5月に開催しておりますが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の災害対応等で5月開催は困難となり、見送りといたしました。秋（10月）に開催できるか検討中です。

〔編集後記〕

5月16日から新たに指導普及課企画係の臨時職員として、佐藤優美さんが加わりました。皆さまよろしく願いいたします。



2011・国際森林年